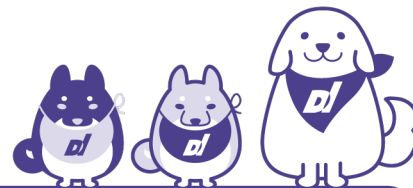




つじの しんいち
辻野 眞一

担当 就労移行支援事業所



皆様こんにちは。就労移行支援事業所 アスミル大田原の辻野と申します。

今回のテーマ「私の母」ですが、不思議と言えば不思議なことですが、私の身近には常に医療関係や福祉関係の人がいました。88歳になる母もその一人です。かつて若かりし頃は銀座のど真ん中の病院で看護師をしていた母は、子供の頃よく風邪を引いていた私に適切な対応と看病をしてくれました。

その後成人した私は、医師からも通常の人より免疫力が弱いと言われ、大病を患うこともしばしばありました。そんな時に母の知識や適切な判断が自分を守ってくれたと思っています。その後月日がたち私も結婚をすることになったのですが、後から思えばお見合いを数回行ったのですが、その全ての方が何らかの形で医療に従事している人でした。当然、妻は看護師です。妻は現在、福祉関係の仕事に従事していますが、何と娘も地元の病院に勤務しています。今でも時々、一般の人がなかなか罹らないような珍しい病気になることがあるのですが、そんな自分の周りには心強い女性（母）達がいって常に支えられています。